

令和5年度第4回山口県感染症対策連携協議会 概要

1 開催日時・場所

令和6年2月7日（水）19:00～20:30（オンライン開催）

2 出席者

委員 松永委員、鶴田委員、長谷川(俊)委員、沖中委員、田原委員、佐世委員、鈴木委員、神徳委員、小山委員、吉田委員、西生委員、長谷川(真)委員、亀井委員、内田委員、渡邊委員、鬼武委員、調委員、県産業医会 長田副会長(塩田委員代理)（19名中18名出席）

オブザーバー 山口県精神科病院協会 稲野会長、越智岩国(周南)環境保健所長、玉野井柳井環境保健所長、高橋山口(萩)環境保健所長、原田防府保健所長、前田宇部(長門)環境保健所長

県(事務局) 石丸審議監、健康増進課 菊池課長、藤井主査 他
下関市保健医療政策課 大仲課長、石本主幹、岡田主査、濱生主査

3 議題

○ 感染症予防計画の改定等と今後の保健・医療提供体制の整備に向けて

- ・配布資料に沿って、これまでに各委員や関係団体等から得た意見等を踏まえてとりまとめた計画最終案の概要や、保健・医療提供体制の整備等に向けた取組状況、来年度以降の取組の方向性等について、事務局より説明を行った。
- ・計画最終案や全体的な取組に大きな異論はなく、各論として各委員から意見等を得た。

4 委員からの主な意見等

- ・特に流行初期以降の後方支援医療機関数及び派遣可能な医療人材数の更なる拡充が必要
- ・保健所が収集した疫学情報等の活用と、その解析及び情報発信が可能な人材の養成が必要
- ・災害支援ナースの養成に取り組み、人材派遣の拡充を図っているところ
- ・今後の実践型訓練の実施にあたっては、流行初期を想定した医療機関向けの訓練と、施設等でクラスターが頻発する感染まん延期を想定した高齢者施設等向けの訓練とを分けて計画することが必要
- ・社会福祉施設について、多床室と個室では感染対策が異なるが、多床室の施設もまだまだ多いため、多床室を念頭に置いた感染対策訓練等の実施が必要
- ・妊産婦をはじめとした患者の搬送等について、県と下関市がしっかりと連携することが必要
- ・予防接種について、定期接種だけでなく、任意接種を含めた接種全般を促進していくことが必要
- ・来年度以降も、本協議会を通じて取組状況の検証を行いつつ、計画を実行性あるものとしていくことが重要